

海開きの後、海水浴を楽しむ神崎小の子供たち



田ノ浦ビーチで海開き

「恋人の聖地」セレモニーも

大分市

大分市の海水浴場「田ノ浦ビーチ」で1日、海開きがあった。久しぶりの青空の下、近くの同市立神崎小学校の児童36人がさっそく海に入り、本番を迎えた夏を楽しんだ。

海開き式で6年生の藤嶋大己さんが「きれいに掃除している人やライフセーバーの方に感謝して楽しめます」と宣言。子供たちは砂浜を走って海に入り、追いかけてっこをしたり泳いだりした。4年生

の弥田柚希さんは「暑かったので、海の中が気持ち良かった。もっと上手にクロールで泳げるようになりたい」と目を輝かせた。また、同ビーチがN

PO地域活性化センター（静岡市）から「恋人の聖地」に認定されたことのセレモニーも開かれた。非婚化や少子化への対策として、「プロポーズにふさわしい場所」を認定しているもので、全国で137番目。今秋に結婚予定のカップルが純白のタキシードとウエディングドレス姿で登場し、チャペルを鳴らして「聖地」の誕生に花を添えた。【池内敬芳】



「恋人の聖地」認定式典でチャペルを鳴らした2人は、今秋に結婚の予定